

電気通信大学 平成17年度シラバス

授業科目名	独語第二(再履)		
英文授業科目名	Elementary German II		
開講年度	2005年度	開講年次	2年次
開講学期	4学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	1
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化基礎科目 I I		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	湯川 敬弘		
居室	東1-607		

公開E-Mail	授業関連Webページ
	<a href="http://www.coelang.tufs.ac.jp/modules/de/dmod/">http://www.coelang.tufs.ac.jp/modules/de/dmod/</a>

<b>【主題および達成目標】</b>
(a) 主題：独語第一（再履）にひきつづき、独文法の基本を身につけながら、ドイツ語的形式思考訓練をする。
(b) 達成目標：文法に従って文が読めるようになる。日本語の意味理解との違いがわかる。

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
独語第一（再履）

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>
なし

<b>【教科書等】</b>
プリントを渡す。

## 電気通信大学 平成17年度シラバス

### 【授業内容とその進め方】

#### (a) 授業内容

第一の授業での形式的思考への頭の切り替えができると、格変化と人称変化、動詞の位置の意味がわかる。そこで過去形と人称変化、助動詞構文と不定詞句などを理解し、簡単な文を読む

#### (b) 授業の進め方：

プリントの問題を中心に、必ず全員にあたるようにする。

### 【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

#### (a) 評価方法：

中間試験・期末試験および演習・宿題の結果を、次のように総合評価する。

成績評価 演習・宿題 40%

期末試験 60%

#### (b) 評価基準：

すべての課題が受理されていること。

### 【オフィスアワー：授業相談】

適宜相談に応じるが、メールで事前に連絡すること。

### 【学生へのメッセージ】

大学の授業は自分で問題を見つけることが出来ること、それに対して自分の頭で考えられるようになることが第一。

### 【その他】